

いつも私のコラムをご覧頂きまして有難うございます！

突然ですが皆さんラーメンはお好きですか？そして神座(かむから)ラーメンをご存知でしょうか？今や店舗数が50店舗近くになり関西空港や近いところでは西宮ガーデンズ、最近では阪急三番街の一等地にも出店され味の好き嫌いはおいといてラーメンに少しでも興味のある関西の方なら知らない人はいないであろうと言うくらいの有名店です、お味の方はいわゆる九州ラーメンに代表されるとんこつラーメンとは一線を画したあっさりとしたスープに白菜の甘味を生かした云わば白菜ラーメンの草分け的なお店ではないかと私は思っております(^^；
(間違ったらすません)

発祥の地は奈良県らしいですが道頓堀に出店してから話題となり次に心齋橋店ができた20年くらい前、私が30代前半の時には本当によく通ったものです。

その頃私はまだお店は1店舗で、バリバリ現役で営業に立って仕事をしておりましてお店はなかなか思うようにいかず売上も伸び悩み、スタッフともいまいち上手くいかないし、それでも同業他社には負けたくないと言う意気込みだけはあって今この時期に店舗展開しないと自分はダメになってしまうのではないかと何故か若い私は焦っている時期でした。同業仲間と飲みに行っても他の経営者は調子よく私とさほど歳が変わらない先輩経営者や後輩までも追い抜かれ彼らはどんどん出店を重ね都会にも進出し飲んでる間も自慢話ばかり聞かされてはダメなやつ扱いされてへこんでしまう毎日でした、そんなへこんだ状態で最後の締めについていつもひとりで立ち寄っていたのが神座ラーメンでした。

酔っ払ってるのにまた中生ビールとラーメンを注文して頭がクラクラになりながらラーメンをすすっていました、私が神座ラーメンに立ち寄る理由はラーメンが食べたいのもありましたがあの店の空気感を味わいたくて通っておりました。お店の内外装もそれまでのラーメン屋とは違い斬新でラーメン業界のリーディングカンパニーになるであろう物凄い勢いでした。当時から変わらないラーメン店とは思えないシェフのようなユニフォームと帽子にスカーフを着た店員さんがテキパキと働く姿…生き生きとしていました。まるで一杯のラーメンに自分の夢を託しているかのように…そして隅々まで掃除が行き届いている清潔な店内、スタッフに何を伝え何を語りかけたらこんなにも生き生きと働いてくれるのだろう、そんな事を考えながらラーメンを食べているとなんだか元気をもらえてまた明日から頑張ろうと思うことが出来てお店をあとにしたものでした。あれから20年以上の歳月が過ぎましたが今でも神座ラーメン心齋橋店の前を通りかかるとあの日々の事が蘇ってきます。

